

SMILE

第2次田原市観光基本計画 アクションプラン
(中期 令和5～7年度)



第2次田原市観光基本計画アクションプラン見直し(中期)にあたって

本アクションプランは、令和2年3月に策定した「第2次田原市観光基本計画」を着実に遂行するために、短期(3年間)で取り組む施策を具体的にまとめたもので、3カ年ごとに見直しを行うこととしています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、日本でも令和2年1月に最初の感染者が確認されて以降、4月には全国で緊急事態宣言が発出される事態となり、全世界で感染拡大防止のために強い人流抑制措置がとられるなど、観光地や観光業界に対しても大きな打撃を与えました。飲食・観光の制限、イベント等の中止、出入国制限等、人々の社会経済活動が一変し、価値観やライフスタイルの多様化が進んでいます。

こうした中、本市においては、観光を含む社会経済活動がどのように変化していくのかを見極め、ウィズコロナ、アフターコロナにおける新たなニーズに対応した観光振興を進めていくことで、コロナ禍において減少した観光消費の回復を図るとともに、当初掲げた基本理念「地域を誇り人が輝く観光によるまちづくり」の実現を目指します。

今回、本アクションプランは、前述の状況を踏まえた上で、令和2年3月策定の前期プランに続く中期プランとして、各実施施策について進捗状況の確認、見直しを行います。



SMILE の輪が広がる！

地域の素晴らしさに気付いた SMILE
旅先の田原市で出会った SMILE
思いがけない驚きや感動に思わず SMILE
あまりに身近で、住んでいると気付かない
しかし訪れた人には驚きと感動を与えるモノがある
来て、見て、体感した
SMILE の輪を広めるプロジェクトが始まります

地域を誇り人が輝く 観光によるまちづくり

観光振興は、地域が抱える課題を解決し、地域の暮らしを豊かにするための取組でなければなりません。観光の持つ力を使い、本市の観光産業だけでなく、農業や漁業、工業、商店街など地域全体の経済を活性化させるとともに、ここに暮らす人々が地域を誇り輝くことで田原市に「住み続けたい」と思える、活力に満ちたまちを目指します。

計画期間

令和5～7年度（3か年）※以降3年ごとに見直し

第2次田原市観光基本計画は令和2～11年度（10か年）

住んでよし ＝まちづくり

- 市民の地域愛・誇りの醸成
- 生きがい・生涯学習の創出
- 地域環境の保全・再生・向上
- 地域コミュニティの活性化

訪れてよし ＝産業振興

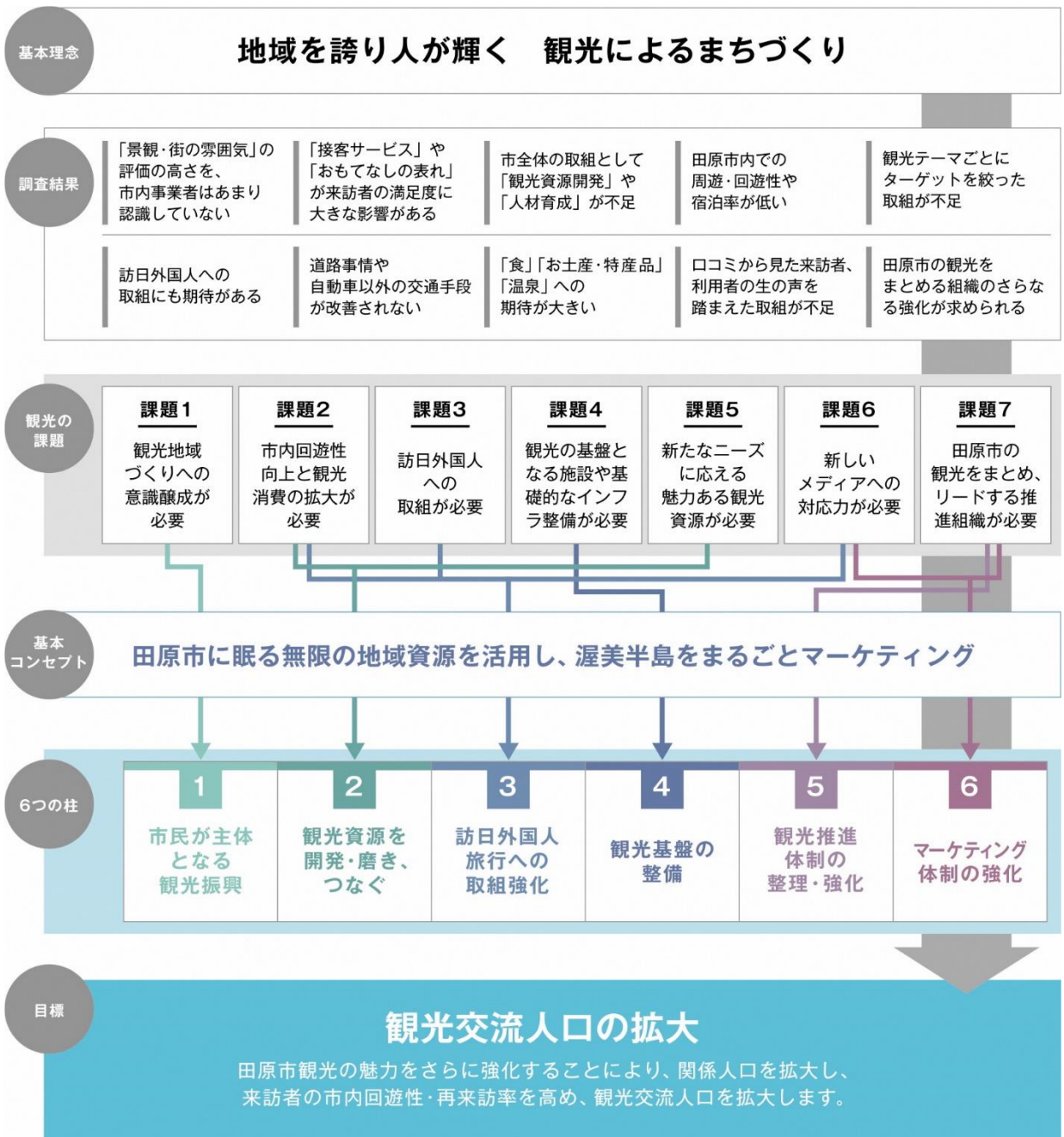
- 交流人口の拡大
- 観光の質の向上
- 消費額の拡大
- 関連事業者の所得の向上

田原市に眠る無限の地域資源を活用し、渥美半島をまるごとマーケティング

渥美半島には、豊かな自然と景観、全国でも有数の農業を始めとする産業、サーフィンやサイクリング等のスポーツに適した環境、食や歴史など多様で数多くの地域資源があります。私たちがまだ気付いてない素敵なものもたくさん埋もれています。

そして何より素敵な人がたくさん働き、住んでいます。これらの資源を生かして、渥美半島を訪ねる多くの皆さんとの交流を通し、“地域を誇り人が輝く観光によるまちづくり”を進めます。

田原市の観光に対して、様々な施策を実施することにより課題を解決し、田原市の観光振興を図っていきます。実施する施策を6つの柱としてまとめます。



1. 市民が主体となる観光振興

観光の主役は「人」。私たち田原市民の全員が、「田原市を訪れる皆さんをおもてなしの気持ちで温かく迎える」「自分の地域や仕事について誇りを持って語れる」ようになることを目指します。

成果指標

▶市民意識調査「観光の振興」の重要度 52.4%（令和4年度）を60%以上（令和7年度）にする。

●実施主体 ※主体となる順で掲載

【行政】田原市、【団体】（一社）渥美半島観光ビューロー、経済団体、NPO 団体等、【事業者】市内事業者等、【市民】田原市民

（1）市民の観光客受入れ機運の醸成

誰でも参画可能な観光分野の講座の開催 ⇒ 【継続実施】

【具体的なアクション】

- ▶観光まちづくり実践塾を開催
- ▶出前観光教室（小・中学生等向け）を開催

【実施主体】行政、団体

（2）学校教育への対応強化（田原市の観光事業への意識向上）

市内の保育園や小学校等において田原市の魅力を伝える体験プログラムの実施 ⇒ 【継続実施】

【具体的なアクション】

- ▶たはら巡り～な等を活用し、市内の保育園児・小学生等向けに田原市の魅力を伝える体験プログラムを実施

【実施主体】行政、団体、市民、事業者

（3）市民参加による観光活動（市民参加促進）

1. 市民提案企画の活用・協働 ⇒ 【継続実施】

【具体的なアクション】

- ▶田原市観光事業者等提案事業を募集、補助
- ▶市民、事業者、団体、行政の協働による観光企画の実施

【実施主体】市民、事業者、団体、行政

2. 市民観光ボランティア募集・育成 ⇒ 【継続実施】

【具体的なアクション】

- ▶観光ボランティアガイド育成講座を実施

【実施主体】団体、市民、事業者、行政

3. 「たはら巡り～な」の体験プログラム主催者の募集・育成 ⇒ 【継続実施】

【具体的なアクション】

- ▶たはら巡り～なの体験プログラム主催者を募集・実施し、研修会を開催

【実施主体】団体、市民、事業者、行政

(4) 市民による観光交流の実現（観光交流促進）

1. 観光関連のセミナーや「たはら巡り～な」等で集まったメンバーでワーキングを実施 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

- ▶観光関連の市民や事業者を集め、ワーキング・交流会を開催

【実施主体】 団体、行政、市民、事業者

2. 渥美半島観光ビューローと協働で関係事業者・団体等の観光交流会の開催 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

- ▶観光関連事業者や団体を集めた観光交流会を開催

【実施主体】 団体、行政、事業者

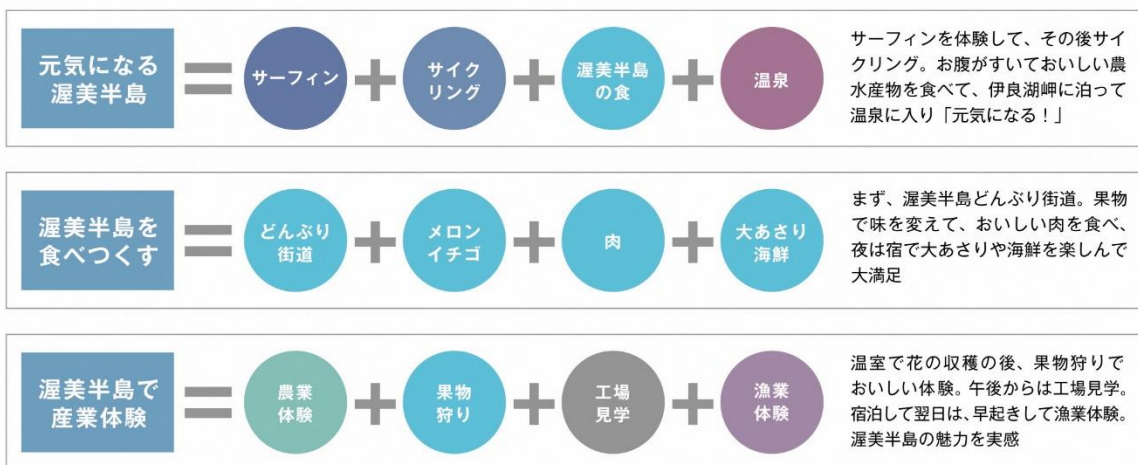
2. 観光資源を開発・磨き、つなぐ

田原市にまだ眠る観光資源として生かされていない素晴らしい素材を発掘し、開発します。また、すでに活用されているものをさらに磨き、質を高めます。そうして新たに開発した資源や、磨き上げた資源を「渥美半島で元気になる」「渥美半島を食べつくす」「渥美半島の花を満喫する」「渥美半島の産業を体験する」等のテーマや、歴史に基づくストーリーでつなぎ、田原市を訪れた皆さんの回遊性を向上させ、満足度向上や滞在時間の延長等につなげます。

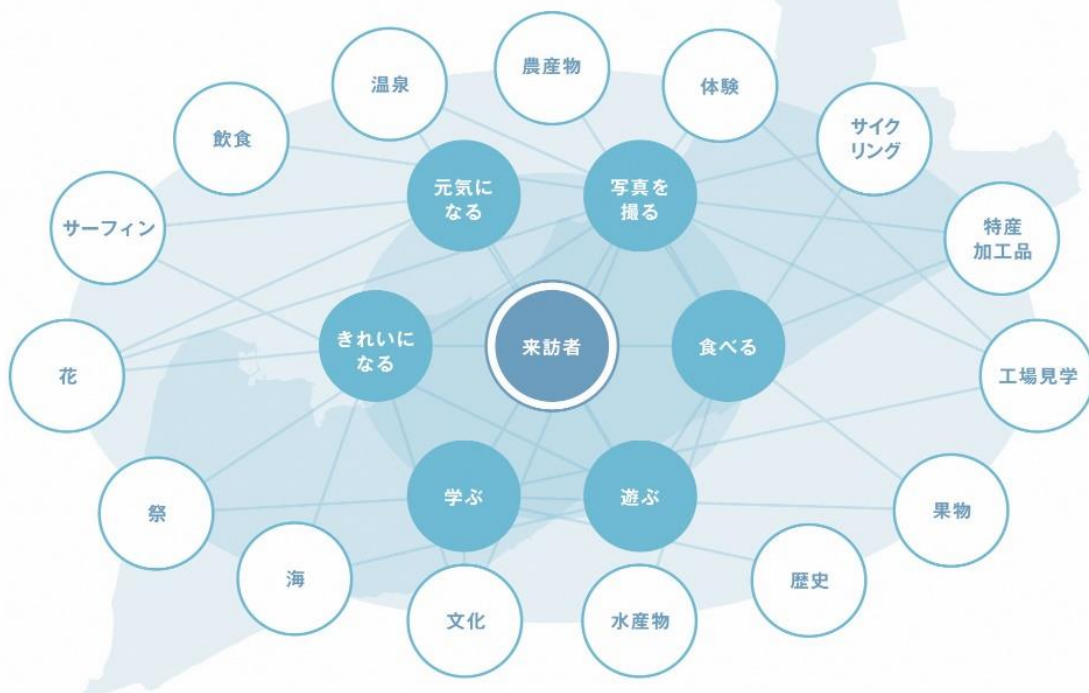
成果指標

▶地域内の旅行者により、温泉、サイクリング、サーフィン等の体験プログラム旅行商品が3年で10以上造成・販売される。

資源をテーマ・ストーリーでつなぐ(例)



テーマごとに観光素材をつないで、より豊かな旅行体験を提供する



1 観光資源を開発する

(1) **温泉資源の開発、活用** *温泉：伊良湖温泉 令和4年4月利用開始。

温泉資源の活用促進 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

- ▶「伊良湖温泉」活用のための検討・研究会を継続して開催
 - ▶伊良湖温泉部会を中心に、伊良湖温泉を活用した誘客事業を実施
- 【実施主体】 事業者、団体

(2) **市内のサイクルルートを活用した新たな自転車活用の仕組みづくり**

1. 自転車を活用した市内観光資源間の回遊性向上のための仕組みづくり ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

- ▶自転車の観光活用のための検討・研修会を継続して開催
- 【実施主体】 行政、団体、事業者

2. ナショナルサイクルルート制度の活用 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

- ▶渥美半島どんぶり街道との連携によるサイクリングイベントの開催や国内外へのPRを実施
 - ▶市内のサイクルルートとの連携強化を実施
- 【実施主体】 行政、団体、事業者

(3) **街なか観光の推進**

田原市街地、福江市街地の地域資源・景観を生かしたまち歩き型観光の推進 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

- ▶歴史・文化等を活用したまち歩き型観光の研究会を実施しイベントを開催
- 【実施主体】 団体、市民、行政

(4) **新たな体験プログラムの開発**

これまで観光資源として活用されていなかった市内の資源を体験プログラムとして活用 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

- ▶これまでに観光利用されていない新しい素材を活用し、たはら巡り~なのプログラムとして実施
- 【実施主体】 市民、事業者、団体、行政

(5) **滞在時間延長につながる魅力の創造**

宿泊につながる体験メニュー、朝市、夜市等の研究、宿泊施設等のリノベーション促進 ⇒ **【今期追加】**

【具体的なアクション】

- ▶観光関連事業者を集め、地域一体となった連携強化を実施
- 【実施主体】 事業者、団体、市民、行政

2 観光資源を磨く

(1) 伊良湖岬周辺観光整備 (ソフト事業)

1. 伊良湖岬灯台周辺から船を眺める魅力の活用 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

- ▶大型運搬船等や漁業等を解説するガイド育成や体験プログラムを開発

【実施主体】 団体、事業者、行政

2. 道の駅や漁港、魚市場の活用 ⇒ **【今期追加】**

【具体的なアクション】

- ▶道の駅伊良湖クリスタルポルトを中心に、水産物等のPRを実施

【実施主体】 団体、事業者、行政

(2) 地域資源を生かしたスポーツツーリズムの推進

田原市ならではのスポーツを活用した観光の振興 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

- ▶スポーツツーリズムの受入環境を整備
- ▶イベントを継続開催、新規誘致
- ▶スポーツ合宿・トップアスリートを誘致

【実施主体】 団体、事業者、市民、行政

(3) お土産の強化

渥美半島たはらブランド認定品制度等を活用した田原市ならではの土産物の開発・販売強化 ⇒

【継続実施】

【具体的なアクション】

- ▶新しいお土産品の開発を支援

【実施主体】 事業者、団体

3 観光資源をつなぐ

(1) サーフィン×観光の推進

1. サーフィンの観光活用の推進 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

- ▶サーフィンの体験プログラムを増加させ、たはら巡り～などで実施
- ▶サーファーが市内を周遊し観光する仕組み作りを研究

【実施主体】 行政, 団体, 事業者

2. ビッグイベント誘致（全日本大会・世界大会誘致等） ⇒ **【今期追加】**

【具体的なアクション】

- ▶アジア競技大会 2026 等、大規模大会を積極的に誘致

【実施主体】 事業者、団体、行政

(1) 産業×観光の推進

1. 自動車産業等、工業の観光活用（工場見学等） ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

- ▶工業に関連する体験プログラムをたはら巡り～などで実施

【実施主体】 事業者、団体、市民

2. 漁業の観光活用 ⇒ **【今期追加】**

【具体的なアクション】

- ▶漁業に関連する体験プログラムをたはら巡り～などで実施

【実施主体】 事業者、団体、市民

(3) 農業×観光の推進

花、野菜、果物等の豊富で高品質な農産物を生かした農業体験の増加 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

- ▶農業に関する体験プログラムを増加させ、たはら巡り～などで実施

【実施主体】 事業者、団体、行政

(4) 歴史・文化×観光の推進

歴史・文化資源の活用 ⇒ **【今期追加】**

【具体的なアクション】

- ▶歴史・文化等を活用し、イベントを開催

【実施主体】 団体、市民、行政

(5) 食×観光の推進

「食」の渥美半島プロジェクト どんぶり街道、貝づくし渥美等の実施 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

- ▶サイクリングイベント、温泉活用イベント等との連携によるPRを実施
- ▶PRイベント等を開催

【実施主体】 団体、事業者、行政

(6)「観光体験博覧会 たはら巡り～な」の推進

「たはら巡り～な」の推進 ⇒ 【継続実施】

【具体的なアクション】

- ▶たはら巡り～なを継続し、民間主体による開催を推進
- ▶通年開催、当日参加可能なプログラムを実施

【実施主体】 団体、事業者、行政

3. 訪日外国人旅行への取組強化

田原市を訪れる訪日外国人の方はそれほど多くありません。だからこそ、新しい発想や方法で喜んでもらえる可能性があります。私たちらしいおもてなしを作っていきます。

成果指標

▶市内外国人宿泊者数を令和7年度までに、コロナ禍前の基準値5,000人にもどす。

(1) 訪日外国人受入環境の整備

1. Wi-Fi、トイレ洋式化等の環境整備やキャッシュレス化を促進 ⇒ **【今期追加】**

【具体的なアクション】

▶道の駅等の観光拠点のインバウンド受入環境を整備

【実施主体】行政、団体、事業者

2. 市内各道の駅等での外国人観光案内所としての機能強化 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

▶道の駅関係者による外国人対応研究会を開催

【実施主体】事業者、団体、行政

(2) 訪日外国人向け情報発信の強化

多言語版の観光パンフレットを作成 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

▶訪日外国人向け観光パンフレットを作成

【実施主体】行政、団体、事業者

(3) 在住外国人を対象とした体験機会の増加

実習生や留学生等の在住外国人の観光体験による情報発信を推進 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

▶実習生・留学生等を対象としたモニターツアーを実施

▶たはら巡り～などで在住外国人が参加しやすい体験プログラムを実施

【実施主体】団体、事業者、市民、行政

4. 観光基盤の整備

私たちは、美しい街並みや道路、観光施設そしてトイレ、親切な案内所、ほっと一息できる休憩所等を整備することがおもてなしの第一歩だと考えています。私たちは一丸となって整備に取り組みます。

成果指標

▶インターネットによる田原市再来訪意向 70.4%（令和元年度）を 80%（令和7年度）にする

※新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に旅行者数が激減したため令和4年度調査未実施。

（1）サイクリング、ウォーキングのための環境整備

ナショナルサイクルルート制度に適した受入環境の整備 ⇒ **【継続実施】**

具体的なアクション

▶道の駅等へ自転車修理キット・ロッカーを設置、着替えスペース確保を実施

【実施主体】行政、団体、事業者

（2）交通利便性の向上

1. 超小型モビリティモデル導入等の検討 ⇒ **【今期追加】**

【具体的なアクション】

▶道の駅等でのEVモビリティ導入に向けた検討会を実施

【実施主体】行政、団体、事業者

2. レンタサイクルの充実 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

▶レンタサイクルを活用した周遊マップを作成

【実施主体】団体、事業者、行政

（3）観光拠点の整備

1. 渥美半島菜の花浪漫街道にある重点道の駅等の観光拠点としての機能の強化 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

▶サイクリスト受入環境を整備

▶たはら巡り～な等の体験型観光の情報発信を実施

▶JNTO登録等によるインバウンド対応の実施

▶日本風景街道大学菜の花田原キャンパス開催により、道の駅と日本風景街道の連携を促進

【実施主体】行政、事業者、団体

2. 芦ヶ池農業公園サンテパルクたはらの観光拠点としての機能の強化 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

▶体験教室・収穫体験を充実

▶近隣施設との交流連携を実施

【実施主体】行政、事業者、団体

5. 観光推進体制の整理・強化

訪れた皆さんが、田原市のファンになるためには、私たちが一体となっておもてなしをする必要があります。観光に直接関わる事業者はもちろん、市民や団体、行政が一体となって「地域を誇り人が輝く観光によるまちづくり」の推進に取り組みめるよう、現在の体制をしっかりと検証した上で、推進体制の整理と強化を行います。

成果指標

▶渥美半島観光ビューローと市を中心に、観光事業者・団体等が参画する協働推進体制確立のための研究会を3年間継続して開催する

(1) 官民一体となった協働推進体制の検証・確立

官民一体となった協働推進体制の検証・確立 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

▶渥美半島観光ビューローと市を中心に、観光事業者・団体等が参画する研究会を開催

【実施主体】 行政、団体、事業者

(2) 行政と渥美半島観光ビューローの役割の明確化

1. 行政と渥美半島観光ビューローの役割の明確化 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

▶渥美半島観光ビューローと市で役割分担について協議を実施

【実施主体】 団体、行政、事業者

2. 基盤強化のための渥美半島観光ビューローの法人化、DMO化等の検討 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

▶渥美半島観光ビューローの法人化、DMO化の研究・検討会を開催

【実施主体】 団体、行政

(3) 観光事業者間の情報共有機会の創出

観光事業者間の情報共有機会の創出 ⇒ **【継続実施】**

【具体的なアクション】

▶たはら巡り～な交流会等、既存の会の有効活用を含め、観光事業者間の情報共有機会を創出

【実施主体】 事業者、団体、行政

6. マーケティング体制の強化

どんなに素晴らしい観光地域づくりができたとしても、それを知らなければ訪問してくれません。認知度向上のための情報発信は重要ですが、マーケットエリアやターゲット層を意識し、観光客が求める情報を適切な方法で届けなければ十分な効果は期待できません。観光客のニーズを常に正しく見定めてから、地域の様々な魅力に合った多様な集客方法を開発し、適確で適正な集客につなげることを目指します。

成果指標

▶インターネットによる田原市非来訪者の田原市観光資源認知度 17.73% (令和元年度) を 30% (令和7年度) にする。※市内20か所の認知度平均値

情報発信・PRの強化

1. SNS等最新の情報収集・発信ツールの積極的な活用 ⇒ 【継続実施】

【具体的なアクション】

▶既存のキャベゾウSNS (Instagram、Twitter、Facebook) 等を始め、最新ツールを積極的に活用し情報を発信

【実施主体】 団体、市民、事業者、行政

2. 各種メディアへの広報活動の強化 ⇒ 【継続実施】

【具体的なアクション】

▶SNSを含む、テレビ・ラジオ・新聞などメディアごとの特色を生かした広報活動を実施

【実施主体】 団体、事業者、行政

3. サーフィン、自転車、温泉、食、体験等テーマ別の情報発信の強化 ⇒ 【継続実施】

【具体的なアクション】

▶渥美半島観光ビューローHPにおいて、テーマごとに情報を掲載

【実施主体】 団体、事業者、市民、行政

4. 旅行者への情報発信・営業活動の強化 ⇒ 【継続実施】

【具体的なアクション】

▶広域組織との連携による営業活動を継続実施

▶渥美半島観光ビューロー及び会員と行政の連携による営業活動を強化

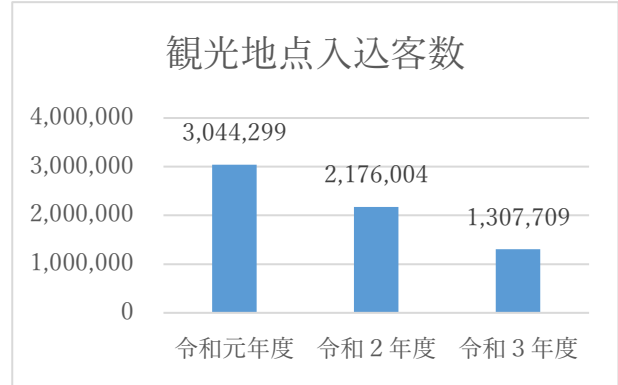
【実施主体】 団体、事業者、行政

アフターコロナ期における観光戦略

1. 新型コロナウイルスの影響

前述したように、アクションプランの開始年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、本市観光産業においても大きな打撃を受けました。令和元年度まで約300万人の横ばいで推移していた観光地点入込客数も、令和3年度には半分以下の130万人まで落ち込みました。

ワクチン接種も進み、国の旅行支援制度も活用されたことで令和4年度には全国的に旅行需要も復活し、徐々に入込客数も増加してきました。コロナ禍において、密を避けることのできるアウトドア需要が高まり、豊かな自然が魅力である本市にとっては観光誘客の好機であると考えます。ライフスタイルの変化とともに旅行者にも新たなニーズが生まれ、そのニーズに的確に対応し観光振興を進めていくことで、本市観光産業の再生を目指す必要があります。



2. アフターコロナの観光戦略

新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せつつありますが、アフターコロナにおける観光需要回復に向けて、感染防止対策を徹底しながら観光振興を進めていきます。コロナの時期を経て、人々の観光に対する意識がどう変化し、観光のニーズにどのような影響を与えるのか、またそれに応じて観光関連事業者の提供するサービス等がどのような変化をしていくのか、見極める必要があります。

本市としては、これまでに推進してきた「4つのツーリズム」を軸に、各地域資源の付加価値を高めることで、他地域との差別化と競争力の向上を図り、観光産業の再生へとつなげていきます。

(1) 体験型観光の推進

- ・たはら巡り～などの体験プログラムを磨き上げ、市内回遊性の向上へとつなげます。
- ・デジタル観光マップとの連携により、利用者の利便性向上を図ります。
- ・事業者同士の交流の場を設け、新たな体験型観光の創出を支援します。

(2) ウェルネスツーリズムの推進

- ・伊良湖温泉のプロモーションを継続し、さらなる認知度向上とファン獲得を目指します。
- ・伊良湖温泉を核とした地域資源を活用し、交流人口の拡大と地域活性化につなげます。
- ・伊良湖温泉を活用した施設やお土産開発等を支援します。

(3) サイクルツーリズムの推進

- ・ナショナルサイクルルートをPRし、国内外からの誘客を図ります。
- ・道の駅を中心とした観光拠点において、受入環境を整備します。
- ・他地域のサイクルルートと連携し、サイクルイベントを積極的に誘致します。

(4) スポーツツーリズムの推進

- ・スポーツ体験プログラムを充実させ、スポーツを通じて本市の魅力をPRします。
- ・既存スポーツイベントの継続と、新たなイベント誘致に取り組みます。
- ・宿泊事業者と連携し、スポーツ合宿を積極的に誘致します。